

しがのふるさと応援隊事業

都市住民を対象に多様な農山村体験プログラムを提供し、関係人口等を創出することで、農山村地域の活性化を図ります。

都市部の高校生・大学生等若年層から働き盛りの中高年層を対象に、農山村地域に一定期間滞在しながら地域住民との交流や農作業活動等の農山村体験を通して関係人口の創出や二拠点居住、移住・定住を図ることで、県北部の農山村地域の振興につなげます。

●事業のイメージ

農山村版ワーキングホリデー

高校生・
大学生等

- ・約1週間農家民宿等に滞在
- ・農業体験、地域の宝探し、住民ワークショップ、地域活動への参加等



地域の伝承文化体験



農家民宿活用



息の長い関係

関係人口創出



農林業サポーター



LINEチャットで繋がり



交流会

農山村体験



農山村デュアルライフプログラム

都市部の
働き盛り世代

- ・数週間～1か月空き家等に滞在
- ・半農半Xの挑戦、テレワーク活用、地域活動への参加等



テレワーク活用



地域活動

半農半X

二拠点居住、
移住・定住



●令和6年度の農山村版ワーキングホリデーの様子

農山村版ワーキングホリデーでは、学生が、農山村地域の魅力的な資源＝地域の「宝」を整理し、その活用方法を考えます。

また、SNS等で地域の魅力を情報発信します。



菊の選定作業(米原市)



炭出し体験(高島市)



チェーンソー体験(米原市)